

# Q. 次の10年への強い思いは

# A. 豊かなまちづくりを目指す



おかしままさのぶ

岡島政信 議員

Okajima Masanobu

9月定例会

質疑あれこれ

討議

一般質問

追跡

総合計画は町の最上位にあたる計画で、豊山町の5年後、10年後を決める羅針盤となるものである。そこで計画の基本構想案について聞く。

**Q** まちづくりの基本理念とまちの将来像のコンセプトや考え方は。

**A** **総務部長**  
基本理念「小さくてキラリと輝くまちづくり」は、小さい町の特徴や利点を活か

し、町ならではの魅力、誰もが「誇り」と「豊かさ」を実感できる町をめざす。また、この基本理念は長期展望を見据え定めたもので、次計画も引き継ぐこととした。

将来像「二人ひとりが輝く暮らし豊かなアーバンビレッジ」は、町民一人ひとりが健康で安心して暮らし、生涯を通じて生きがいを持ち、一層いきいきと活躍できる町をめざすものである。

**Q** この10年間の町政をどう振り返るのか。

**A** **町長**

民間定期航空路線の撤退の危機に直面した県営名古屋空港は、順調に路線を拡大し、90万人を超えるまでになった。空港周辺地域は「アジアナンバードワン航空宇宙産業クラスター形成特区」に指定され、航空機関連施設を集積する「ヒューキのまち」として輝きにぎわいを実現した。

町の人口も着実に増加し、1万6千人に届こうとしている。まさに「にぎわいを取り戻した10年」と考える。

**Q** 服部町長の10年への強い思い、第5次総合計画に対する思いは。

**A** **町長**  
町民の皆様が幸せや住みやすさを実感できる、暮らしに重点をおく10年にしたい。これまでに築き上げた、賑わいに二層磨きをかけ、自分らしい、豊かな未来へのまちづくりを目指す。また、これまでの取り組みを二層深化・発展させる10年としたい。



▲みんなで考える豊山町の未来。写真は町民討議会議の様子